

1 令和6年度第1回総合教育会議（令和6年5月13日開催）における御意見等

委員名	いただいた御意見、キーワード等（今後の区の教育行政において必要な視点等）	対応等
田谷委員	・地域との連携（地域の人、中小企業の人が講師として参加） ・大学との連携	・「地域との連携」を、「みんながつながり『なりたい自分』になれるまち」の実現に向けた視点の一つとしてまとめました。
山内委員	①探求型の力。ICTに使われるのではなく、もっと新しいことができる人。本当にそうだろうか考える力 ②教員のマネジメントの活発化 ③港区に住んでいる人、子どもたちに区への愛着の醸成 ④歴史があるまちだからこそでできるまちづくり ⑤私立学校の連携	①1ページ目に「新しい技術がたくさん出てきて、それをうまく使いこなしながら、自分たちの成長につなげることが大切です」と記載しました。 ③④「誰もがいつまでも身近な場所で健やかに活動できる環境を整備します」の中で、「歴史的価値があるものを守りながら、自分の暮らすまちを愛する気持ちを育てます」と記載しました。 ⑤「地域との連携」としてまとめました。また、「いろいろな教育のあり方を大切にすること」も記載しました。
寺原委員	・家庭内での子どもの教育と区の関わり。悩みを共有したり、先輩の話を聞けるような場、PTAや子どもが集える場の確保 ・保護者との連携した性教育、プッシュ型の読書の機会の提供等による、家庭での話や取組のきっかけづくり	・「地域との連携」の中で、家庭との連携の視点についても記載しました。
中村委員	・教員の働き方改革を重点的に。教員になりたいと思う人の養成 ・不良な教員が出ないようなシステム構築。安心安全な教育現場の確保	・「子どもも保護者も先生も安心できる学びの環境の整備」を、「みんながつながり『なりたい自分』になれるまち」の実現に向けた視点の一つとしてまとめ、教員をはじめ教育に携わる人たちの働き方改革についても記載しました。

2 令和6年第13回教育委員会臨時会（令和6年7月22日開催）における教育大綱（素案たたき台）に対する御意見等

委員名	教育大綱（素案たたき台）に対する御意見等	対応等
山内委員	①歴史がある上でのまちづくり、それが教育にもつながる。歴史的価値があるものを守りながらという言葉が入っているのはいいとして、港区としてどう打ち出していくか。 ②最後の一節、「自分の能力や可能性を最大限発揮できる人」とあり、大事だとは思いますが、人によっては最大限発揮し続けるのがつらいこともある。自らがその力を信じられる、信頼できる環境をつくる、みたいなことでは。	②1ページ目について、以下のとおり修正しました。 （修正前）自分の能力や可能性を最大限に発揮できる人を育て →（修正後）自分の能力や可能性を信じられる環境をつくり

（参考）港区教育ビジョン（素案たたき台）に対する御意見等

委員名	教育ビジョン（素案たたき台）に対する御意見等	対応等
山内委員	①仕事を変えることも多くなっている中、仕切り直しの機会を用意することが必要。 ②国籍だけでなく、母語の多様化の観点で、出てくる課題にどう対応していくか。 ③ICTを活用しつつ、思考力をどう養うのか、どういう力を育てたいのかを意識することが大切。 ④「今の幸せ」と「明日の幸せ」の両方を考えないといけない。子どもを真ん中に置きながら、子どもの意見を言い訳にせず、みんなで考えることが必要。	①④「子どもたちのチャレンジを応援」を「みんなのチャレンジを応援」に修正する等、全体として、子どもに限定した記載だけでなく、生涯にわたる学び、ウェルビーイングの視点での記載となるよう修正しました。
田谷委員 寺原委員	・「『性別』にかかわらず」という表現は、LGBT等の視点も含めた包括的な表現にできるとよい。そういう子たちが自分を否定することなく、包摂した文章が一つでもあると、生きやすくなるし、意味があると思う。	「多様性を認め、誰一人取り残さない学びを保障」の記載の中で、いろいろな性のあり方も含めて一人ひとりの持つ個性を理解・尊重することについて、追記しました。